

当士会では認知症について段階的に学べる研修体制を、PT・ST士会と協力して構築している

認知症リハビリテーション専門職研修（基礎コース）

H25年度の千葉県認知症コーディネーター養成研修および認知症専門職研修体系構築事業の受託を機に、千葉県理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会の三士会合同で「認知症リハビリテーション専門職研修」を実施した。令和4年度から千葉県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会連携推進会議（通称ちばPOS）に主催団体を変更し、基礎コース・応用コースのカリキュラムで、医師、看護師、弁護士、リハビリ専門職、認知症の人と家族の会の方等を講師として、講義・グループワークにより、PT・OT・STの認知症の理解を深める研修を行い、延べ1000名以上受講している。

R4	基礎	11	8	5	24
	応用	8	8	4	20
	フォロー	3	7	1	11
R5	基礎	7	1	5	13
R6	基礎	11	5	2	18
合計(H25～R6.8)		619	325	102	1046

認知症リハビリテーション専門職研修（ビギナーコース）

千葉県健康福祉部高齢者福祉課認知症対策推進班の協力のもと、令和4年度にちば認知症オレンジ大使の方に依頼し、本人インタビュー動画を作成した。内容は診断時の気持ちや生活の困りごと、今後について思うことなど。この動画を基に令和4年度末には、認知症リハビリテーション専門職研修フォローアップコースを、さらに令和5年度および6年度にはビギナーコースとしてそれぞれ実施。

認知症当事者の話や考えを聞きつつ、そのための工夫を学ぶための機会を設け、その後の基礎コースの参加者の拡大につなげている。（R5：13名、R6：13名）



認知症リハビリテーション専門職研修（応用コース）

基礎コース修了者を対象に、応用コースを令和6年度に実施予定。プログラムを見直し、半日2日間（1日オンライン、1日対面）とし、今までの方も受講できるように内容も変更。アーカイブレポートも6項目に絞って実施していく。

〈追加したプログラム〉

- ・若年性認知症
- ・認知症の人の意思決定支援
- ・認知症の人の在宅支援
- ・認知症当事者の社会参加と地域づくり

認知症リハビリテーション専門職研修（フォローアップコース）

認知症リハビリテーション専門職研修修了者を対象にした、実際に地域で活躍できるリハビリ専門職と交流し、情報共有することを目的に実施。

令和5年度はお悩み相談会を実施し、参加者に当委員会への参画を促した。令和6年度は近隣の県士会の活動を知り、今後の連携を図っていくための機会を設けようとして検討している。